

令和2年度 第11回金谷区地域協議会

次 第

日時：令和3年3月24日(水)午後6時～
会場：福祉交流プラザ2階 第1会議室

1 開 会

2 議題等の確認

3 議題

(1) 自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」

4 報告

(1) 令和2年度地域活動支援事業の完了について

5 その他

(1) 南葉ロッジの食堂について

(2) 金谷地区公民館について

6 事務連絡

7 閉 会

指定避難所に関する説明資料

1. 災害用備蓄品の品目及び数量に関する市の考え方について

【備蓄食料】

《備蓄数量について》

最大想定避難者数（令和2年度現在の人口の10%）である約19,000人分の2食分、38,000食を確保している。

《品目及び数量について》

各指定避難所の最大想定避難者数に応じて、下記のセットを1セットまたは2セット配備している。

品目	数量（食）	品目	数量（食）
アルファ米ごはん	76	コンソメスープ	84
レトルトカレー	76	飲料水（1.5ℓ）	72
パン缶詰	76	アルファ米おかゆ	20

この他、一定数量を市内各地で集中備蓄しており、不足する場合には、各指定避難所に随時配送することとしている。

《アレルギー対応食品について》

最大想定避難者数（19,000人）2.54%（※）の3日分である約4,350食を備蓄しており、カルチャーセンター、ラーバンセンター、ファームセンター、各区総合事務所に集中備蓄している。

※市立の幼稚園、保育園及び小・中学校の児童のうち、アレルギー給食対象者の割合（2.54%）から、必要量を算出している。

【備蓄資機材】

各指定避難所に下記のとおり配備している。毛布や携帯トイレなどは、最大想定避難者数に応じて2セットを配備している。

品目	数量	品目	数量
毛布	40枚	なべ	4個
携帯トイレ	300セット	やかん	4個
ポータブルラジオ	2台	カセットコンロ	8台
ポータブルライト	4個	カセットボンベ	24本
消耗品セット	1セット	携帯用充電器	3台
発電機	1台	テレビ受信用機材	1式
投光器（三脚含む）	2台	だるまストーブ	2台
石油ストーブ	2台		

【要配慮者用物資】

各指定避難所の最大想定避難者数に応じて、下記のセットを1セットまたは2セット配備している。

品目	数量	品目	数量
高齢者用おむつ (M、L、LL)	各5枚ずつ	子ども用おむつ (新生児、M、L)	各10枚ずつ
高齢者用おむつパッド	45枚		

この他、集中備蓄で粉ミルク、哺乳瓶、生理用ナプキンをカルチャーセンター、ラーバンセンター、ファームセンター、各区総合事務所に集中備蓄している。

【感染症対策用品】

3. の項目をご参照ください。

2. 避難所初動対応職員の体制について

- 指定避難所の開設や運営等、初動対応にあたる避難所初動対応職員は、市内すべての指定避難所で原則3人配置しており、基本的に各指定避難所の近くに居住している職員を割り当てている。
- 避難情報の発令時や、震度5弱以上の地震発生時等、指定避難所を開設する際には、施設の開錠や避難者受入れのための準備や運営を行う。
- 毎年度、各指定避難所で避難を想定している町内会関係者、施設管理者、初動対応職員の3者が集まり、「避難所事前打合せ」を実施しており、避難所開設・運営マニュアルに基づき、開設・運営に関する基本的な考え方を確認し、関係者間で情報共有を図っている。

3. 新型コロナウイルス感染症対策について

- 昨年7月に「新型コロナウイルスに対応した避難所開設・運営マニュアル」を作成し、各町内会長や施設管理者等に配付を行った。
《マニュアルの主な内容》
 - ・避難スペースの避難者1人あたりに確保する面積を従来の3㎡から約7㎡に拡大
 - ・各指定避難所で避難所運営のためのレイアウトを作成
 - ・避難者の受入や体調不良者への対応方法
 - ・指定避難所内の衛生管理等
- 事前打合せの実施と避難所レイアウトの作成
 - ・昨年7月中旬から8月上旬にかけて、各避難所へ避難を想定している町内会関係者、指定避難所となっている施設の管理者及び避難所初動対応職員の3者で避難所事前打合せを実施し、感染症に対応した避難所運営に関する情報の共有と避難所レイアウトの作成を行った。

○衛生用品等の整備

- ・感染症対策用品として、非接触型体温計の購入、サージカルマスクや手指消毒液の追加配備等、感染症対策に必要な物品を整えた。感染症対策として、各指定避難所に備蓄している物品は下記の表のとおり。

物 品	数 量
段ボールベッド	4台又は8台
間仕切り（段ボール製）	2セット又は4セット
サージカルマスク	100枚
手指消毒液（1000ml）・ポンプ式	1本
スプレーボトル	2本
非接触型体温計	2本
使い捨てビニール手袋	200枚
次亜塩素酸ナトリウム（600ml）	1本
滅菌ガーゼ	300枚
おしりふき	80枚又は160枚
ウェットティッシュ	1,200枚又は2,400枚
ペーパータオル	200枚

自主防災組織に対する市の支援及び防災士育成に関する市の取組について

1 自主防災組織の活動支援

市では、上越市防災士会の皆さんと連携し、次の事業に取り組んでいます。

(1) ハザードマップ活用研修（令和元年度～令和3年度事業）

地域の防災リーダーである町内会長や防災士を対象に、自主防災組織の防災訓練におけるハザードマップの活用方法などに関する研修会を地域自治区単位で開催する。

※ 金谷区においては、令和3年2月13日（土）に実施済み

(2) 防災アドバイザーによる自主防災組織等の活性化

防災活動を過去3年間に実施していない自主防災組織（町内会）に市が委嘱した防災アドバイザーを派遣し、防災活動の取組を支援する。

※ 防災士会の支部がない地域で、かつ、組織内に防災士がいない組織が対象（金谷区では、9組織（町内会）が対象となるが、過去3年間、防災活動を実施していない組織（町内会）はない）

(3) 避難所運営訓練（平成29年度～令和5年度事業）

避難所運営関係者（地域住民・施設管理者・市初動対応職員）を対象に避難所運営訓練を実施する。訓練では、「クロスロード」、「避難所運営ゲーム（HUG）ハグ」と呼ばれるゲーム形式の防災教材を使った図上訓練を行っている。

なお、避難所の運営については、新型コロナウイルス感染症への対策を踏まえた避難所開設マニュアルを基に、昨年7月～8月上旬にかけて避難所運営関係者（地元住民、施設管理者、市初動対応職員）による打合せを現地で実施していることから、訓練に関係なく一定の体制は整っている。

金谷区では、平成30年度に黒田小学校で実施。令和3年度は飯小学校で実施予定。令和4年度以降、高田西小学校、関根学園高校、高田商業高校で実施予定。

(4) コミュニティ助成事業

一般財団法人自治総合センターの助成事業により、自主防災組織の活動に使用する資機材の整備に要する経費を補助（補助率10/10。30万円～200万円）する。

（自治総合センターが補助金交付団体を決定。令和2年度は板倉区田井町内会自主防災組織が採択）

(5) 防災資機材の貸出等

市内の全町内会で組織する上越市防災委員会（事務局：市民安全課）が保有している防災講習用DVDや資機材（プロジェクター、炊出し訓練用機材、訓練用消火器訓練機材など）の貸出しを行う。

2 防災士育成の取組

(1) 防災士養成事業

自主防災活動を推進し、地域における防災力の向上を図るため、防災・減災の知識・技能を有する防災リーダーを養成する。

《受講者》

- ・地域の防災リーダーとして、地域防災力向上に係る役割を担える方
- ・上越市防災士会に入会できる方（防災士会年会費：1,000円）
- ・募集定員：50人

《受講費用》

項 目	費 用
防災士教本代	3,500円
資格取得試験受験料	3,000円
防災士認証登録料	5,000円
合 計	11,500円

参考：令和2年度実績

受講者：51人（男46人、女5人）

(2) 上越市防災士会とは

- ①目的：防災士が互いに連携し、新たな知識や技術の習得に努め、地域防災力の向上と防災意識の高揚を図り、継続的な活動を行う
- ②設立年月日：平成19年6月17日
- ③会員数：531人（令和2年6月1日現在）

(3) 活動内容

- ・講師を招いての研修会（市と共催事業）
- ・普通救命講習
- ・女性部による市民講座
- ・地域自治区単位での支部活動（支部内の組織が実施する防災訓練の指導助言等）

（支部結成状況）

（R3.3.1現在）

結成済み (20支部)	合併前上越市 (8支部)	高田区、諏訪区、津有区、三郷区、高士区、直江津区、有田区、保倉区
	13区 (12支部)	安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、大潟区、頸城区、吉川区、中郷区、板倉区、清里区、三和区
未結成 (8地区)	合併前上越市 (7地区)	新道区、金谷区、和田区、春日区、八千浦区、北諏訪区、谷浜・桑取区
	13区(1地区)	名立区

(4) その他

令和3年度は、防災士の見識を深めるため、被災地を訪問し災害発生時の対応や、復旧・復興に関する現地視察を予定している。（市事業）

自主防災組織及び防災士養成の状況

1 自主防災組織の結成状況等

(令和3年3月1日現在)

区 分		令和元年度	令和2年度	金谷区 (R1)	金谷区 (R2)
町内会数		817	817	28	28
結成済み町内会数		777	778	25	26
組織数		662	664	25	26
結成率	町内会ベース	95.1%	95.2%	89.3%	92.9%
	世帯数ベース	98.5%	98.5%	99.1%	99.5%
訓練等実施組織数		476	256	22	11
訓練等実施率		71.9%	38.6%	84.6%	42.3%

※ 金谷区における自主防災組織未結成町内会は、地頭方町内会と上綱子町内会

※ 自主防災組織未結成の町内会には、地域における災害時の避難体制を防災台帳としてまとめている。

【参考】

全国、新潟県の結成率（世帯ベース）（令和2年4月1日現在）

全国	新潟県	上越市
84.3%	87.4%	98.5%

県内20市の結成率（世帯数ベース）

(令和2年4月1日現在)

順位	市名	結成率 (%)	順位	市名	結成率 (%)	順位	市名	結成率 (%)
1	小千谷市	100.0	8	村上市	95.6	15	糸魚川市	86.9
1	妙高市	100.0	9	胎内市	95.0	16	新潟市	85.6
3	南魚沼市	99.4	10	見附市	94.5	17	燕市	75.0
4	柏崎市	99.1	11	長岡市	91.3	18	三条市	72.7
5	十日町市	98.9	12	新発田市	89.6	19	五泉市	43.6
6	上越市	98.5	13	佐渡市	89.2	20	加茂市	0.0
7	魚沼市	96.4	14	阿賀野市	87.2	20市平均		84.9

2 防災士養成の状況

(令和3年3月1日現在)

	人数	町内会数	防災士がいる町内会数	配置率 (町内会ベース)
市全体	658	817	441	54.0%
金谷区	28	28	19	67.9%

令和2年度 地域活動支援事業実績報告【金谷区】

整理 No.	提案団体名	事業名
2	滝寺歴史保存会	滝寺古文書（古地図）製版及び滝寺砦古道の整備事業
3	正善寺紫陽花会	正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業
7	上越交通安全協会飯支部	金谷区飯支部の交通安全確保事業
8	黒田小学校後援会	黒田小学校区活動における安全確保及び地域活性化事業
10	金谷地区振興協議会	キャンプ体験教室 地域観光事業